

東シナ海ブロック水産業情報

No. 116(2022年1月~3月)

増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
	<p>○筑前海 【カキ養殖】 順調に経過。カキ小屋での販売を中心に出荷。 【ワカメ養殖】 一部、食害や栄養塩不足により収穫量が減少。 【栽培関連】 種苗生産したハマグリを育成カゴに收容し、放流試験を実施中。</p> <p>○有明海 【ノリ養殖】 ・冷凍網張り込みの開始は、悪天候のため12月27日から28日に変更され、30日まで概ね終了。 ・摘採は1月4日から開始され、撤去までに9~10回の摘採が行われ、概ね良質なノリが生産。 ・2月1日に珪藻(リゾソレニア属等)が増加、2月3日に色落ちを確認、その後範囲は徐々に拡大。その後、珪藻(リゾソレニア属等)は減少、2月14日から珪藻(キートセロス属等)が増加し、2月下旬から網揚げ開始。3月17日から23日に珪藻(スケレトネマ属)の赤潮が発生。 ・網の撤去は4月5日までに行われた。 ・冷凍網は、生産枚数9.25億枚(過去5年比102%)、生産金額108.6億円(過去5年比94%)、平均単価11.73円(過去5年比-1.02円) ・生産累計は、生産枚数13.12億枚(過去5年比103%)、生産金額158.2億円(過去5年比97%)、平均単価12.06円(過去5年比-0.79円)</p> <p>○豊前海 【カキ養殖】 ・順調に経過、11月中旬~翌3月にかけて宅配をメインに販売。 【栽培関連】 ・「かぐや装置」によるアサリ稚貝生産、網袋による干潟での放流試験を実施中。 【アカモク増殖】 ・投石した増殖場に母藻を投入、幼体の着生を確認。</p>	<p>○有明 ・カキ養殖 ・令和4年度の生産は、令和4年1月に宮城県から種カキを搬入し開始されている。搬入された種カキは、大浦地先の干潟で抑制飼育を行い、養殖役への種カキの垂下は、4月中旬から順次行われ本養殖が開始されている。 ・ノリ養殖 ・冷凍網の出庫は令和3年12月28~30日に行われ、出庫後の戻りは良好であった。しかしながら、少雨の影響で全体的に栄養塩が少なめである中、西南部を中心に赤潮が長期間発生したため、同地区では大きな色落ち被害が発生した。秋芽網期と冷凍網期を併せた生産は、枚数17.1億枚、金額217.7億円となり、15年度以降19年連続で生産枚数・金額ともに日本一となる予定であるものの、東中部と西南部の生産に大きな差が生じた。</p> <p>○玄海 ・アカウニ: 9/22採卵、令和4年3月に15mmサイズ15万個出荷予定。 ・アラメ: 10/7採苗、11/15葉長5mm、12月に冲出し。 ・カサゴ: 約10万尾飼育中</p>		<p>カンパチ:ゼウクサブタ症 トラフグ:キロダクテリス症</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県